

論文審査の要旨

報告番号	修第 1274号	氏名	光本英雄
論文審査担当者	主査 下平和久 副査 下司映一 副査 梅田恵		
(論文審査の要旨)			
<p>修士(保健医療学)の学位申請者、光本英雄氏は胸腔鏡腹併用食道亜全摘術(VATS-E)施行症例における周術期の入院治療において、喫煙歴の有無が入院医療費に与える影響についてDPCデータを用いて検討した修士論文、「DPCデータを用いた入院医療費に影響する因子～食道悪性腫瘍と喫煙歴の関係～」を提出した。審査員は、申請者に対し、本論文に関連した内容の口頭試問を行った。主要な試問の内容は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none">① 発がんの原因として喫煙が重要とされている癌の種類を述べよ。② たばこの煙に含まれる発がん物質の種類を説明せよ。③ たばこの煙に含まれているタールに発がん性があることを証明した人物はだれか。また、その研究方法を述べよ。④ 喫煙指数の計算方法を説明せよ。⑤ 喫煙により癌の発生率が上昇すると言われているが、癌の発生率を上昇させる喫煙期間はどの程度か。⑥ 手術に際して禁煙した患者と手術前から禁煙していた患者で今回用いた指標に差が認められたか否か。⑦ 喫煙者の場合、喫煙歴(喫煙の長さ)によって症例を分類したら結果がどのように変化するか。⑧ 禁煙後たばこの悪影響がヒトから除去されるのに必要な期間はどれくらいか。⑨ A病院で実施している合併症予防対策を具体的に説明せよ。⑩ VATS-E以外の術式での手術ではどのような結果が得られると思うか。推論で説明せよ。 <p>学位申請者、光本英雄氏からは上記試問に対し、審査員一同が満足する回答を得た。したがって、光本英雄氏は修士(保健医療学)に相応しい学力と知識を有していると判定し、最終試験合格とした。</p>			